

一般質問

小中学校へのエア
コン設置について



大豆生田 春美 議員

質問…小中学校へのエアコン設置の考えはあるかお伺いいたします。

答弁…今年は梅雨明けが例年に比べ早く、学校生活の中で連日の真夏日、また猛暑日の中で行われなければならなかったことから、小中学校では教室を移動するなど各学校で工夫をし、暑さ対策を行っていました。そのような中、平成30年7月24日の

政府の定例会見で、菅官房長官が児童生徒の安全、健康を守るための猛暑対策は緊急の課題とし、来年のこの時期に間に合うよう政府として責任を持って対応したいとのコメントを発表し、小中学校へのエアコン設置を政府として補助する考えを示しています。本市としましても、猛暑対策として児童生徒の健康を守るため、教室等の建て替えを

計画している大田原中学校を除いて、来年の夏までに市内の小中学校の普通教室にエアコンを設置する方針を固めました。現在各学校の電気利用料などの調査を実施し、概算費用の積算をしているところであり、この調査結果や国の補正予算の状況を見ながら、設置に向けて準備をまいりたいと考えています。



滝田 一郎 議員

森林整備計画及び森林
環境譲与税(仮称)
を活用した林業の成
長産業化について

質問…杉、ヒノキの面積は本市の水田面積を上回る1万800ヘクタール、その多くが伐採期の10歳級に達しています。材積量は杉292万立方メートル、ヒノキ123万立方メートル。素材丸太では600億円、さらに製品卸価格となれば、1200億円の価値があると推測できます。県内屈指の林業地帯であるにもかかわらず、製材工場な

ど出口対策の不足感が否めません。そこで平成31年度森林環境譲与税(仮称)の推定交付額及び林業の成長産業化に向けた使途について伺います。
答弁…平成31年度から森林環境譲与税が施行され財源となる森林環境税は平成36年度から徴収される予定です。平成33年度までは毎年約1800万円、その後段階的に加算されると試算し

ています。林業の成長産業化に向けた使途ですが本市では当面大田原中学校の一部木質化、新築住宅の木材の利用に対する補助等に使用することにより木材需要の掘り起こし、木材搬出用の路網整備に活用したいと考えています。さらなる木材の供給に見合う事業の開拓につきましまして、公共施設を中心に有効活用を努めたいと考えています。